

校長挨拶（定時制）

都立総合工科高等学校長 平田誠一

本校は、平成18年に大学進学を重視する工業系専門高校として開校した新しいタイプの高等学校です。

総合工科高等学校の「工科」という言葉は、工業の「工」と科学技術の「科」から成り立っており、この言葉には、ものづくりにおける工業技術と、その背景にある科学技術の両方を体得し、日本のものづくりを支え、グローバル化する国際社会で活躍する技術者を育成していくという思いが込められています。そのために、本校では、最新の施設や設備を使った実験や実習に加えて、知識の裏付けとなる理論を学び、理工系大学への進学を視野に入れた教育を行っています。

本校の教育目標は、「創造」、「探求」、「協同」の3つです。一人一人の生徒が、新たな時代に向けて創造力を磨き、自らの可能性を切り拓く探求心を持ち、他者と協調しながらグローバル社会に貢献していく力を身に付ける、これが、本校と本校生徒の目指す姿であると考えます。

本校の総合技術科には自動車コース、電気・メカトロコース、建築コースの三つの専門コースがあります。1年次は各コースの基礎・基本を学び、2年次から皆さんの興味や関心に応じて専門コースを選択します。それぞれの専門コースでは、実習を通して生きた知識や技術・技能を身に付けるだけでなく、将来有用な資格の取得にも積極的に取り組んでいます。また、定時制課程の修学年限は原則4年ですが、砂川高校との定通併修や資格認定による三修制（3年間で卒業する制度）も実施しています。また、勉強だけでなく、学校行事や部活動にも力を入れており、本校の恵まれた施設や設備をいかして活躍している生徒もたくさんいます。

さらに、本校の先生方は、生徒一人一人に向き合い、親身になったていねいな指導を行っています。勉強が得意でなくても、本校でじっくりと学びながら技術や技能を身に付け、社会で活躍できる人間になって欲しいと願っています。

中学生の皆さん、まずはこのホームページを通して、本校に対する興味や理解を深めてください。そして、学校説明会や文化祭などの機会を活用して、是非、本校の生徒が躍動する「生」の姿を見学に来てください。きっと、そこには、あなたが「この学校で学んでみたい。」と感じる何かがあるはずです。